

東日本大震災 9年10ヵ月

大津波で多くの家屋が流失した豊間地区。集落奥の水田などにも被害が広がった。2012年3月20日(一般社団法人東北地域づくり協会提供)



2020年

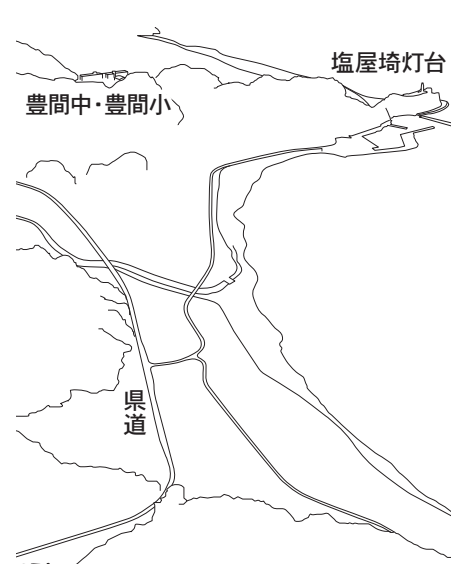


被災した防潮堤はかさ上げされ、背後に防災緑地が設けられた。土地区画整理事業により、住宅地が高台に整備された。2020年11月18日

震災前は海沿いに住宅や民宿、商店などが張り付き、夏は海水浴客らでにぎわった。2010年7月(同協会提供)



2020年5月にオープンした、いわき震災伝承みらい館。週末には語り部が体験を話す。旧豊間中で被災し、復活したピアノが展示されている=20年12月16日



福島 いわき市 原発事故の影 克服し前へ

いわき市は、津波被害と東京電力福島第1原発事故という二つの災禍に直面した。沿岸部では土地区画整理事業や防災集団移転促進事業が完了。海岸線には防災緑地が整備され、新たな街並みが姿を現しつつある。沿岸部のほぼ真ん中に位置する薄磯地区は、海沿いに民宿や住宅が立ち並び、夏は海水浴客でにぎわった。市内で最も被害が大きく、関連死を含めて106人が犠牲となった。住宅の全壊率は87%に達した。

観光地としても有名な塩屋崎灯台を挟んで隣接する豊間地区には市内最大の8.57haの津波が襲来。住宅全壊率は72%。関連死を含めて83人が死亡した。

薄磯にあった豊間中、豊間にあった豊間保育園はともに津波で被災。豊間中は震災遺構として一時、保存が検討されたが2015年に解体された。難を逃れた豊間小の隣接地に移転し、同じ場所に0~15歳の子どもが通う環境が整った。

基幹産業の一つ、水産業も大打撃を受けた。原発事故で漁を自粛。いわき市沖で試験操業が始まったのは13年10月、新しい小名浜魚市場の完成は15年3月だった。

試験操業は継続中だが、福島県沖で捕れる全43魚種の出荷制限は20年2月に解除された。漁協は今春以降の本格操業を目指し、準備を進める。

原発事故に伴い双葉郡などから市内に身を寄せた避難者は1万8539人(20年10月現在)。原発事故の影響は発生から10年たつとも色濃く残る。

あの日から一歩ずつ復興してきた若手、宮城、福島3県の被災自治体を、定点観測で毎月紹介します。

● まちのデータ

人口	2020年12月1日	11年3月1日	増減率
	33万6850人	34万1463人	-1.4%
復興交付金	1345億4700万円		
犠牲者	死亡	行方不明	関連死
	293人	37人	138人
住宅被害	全壊	半壊	一部破損
	4644棟	3万2921棟	2万6004棟

※復興交付金は復興庁まとめて、いわき市内で実施された福島県事業への交付分を含む。人口、犠牲者、住宅被害は県と市まとめ

● まちの宝



塩屋崎灯台

海抜73mの断崖に立つ。1899年に初点灯。現在の灯台になったのは1940年。美空ひばりの「みだれ髪」の歌詞に登場し、映画「喜びも悲しみも幾年月」の舞台にもなった。



サンマのポーポー焼き

サンマのすり身にみそやネギ、ショウガなどを混ぜ、ハンバーグ状にして焼く郷土料理。名前の由来は「サンマの脂が炭火に落ち、ポーポーと炎が出た」など諸説ある。

● まちの動き

- 2011年
 - 3月11日 地震発生。いわき市で震度6弱。沿岸部で4.9~8.5の津波を記録
 - 12日 東京電力福島第1原発の1号機建屋が水素爆発
 - 13日 原発30km圏内となる久之浜町と大久町の一部住民に市が自主避難を要請
 - 15日 原発30km圏内の小川町上小川戸渡地区と川前町下桶売の住民に市が自主避難を要請
 - 21日 常磐自動車道水戸-いわき中央インターチェンジ間の通行止め解除
 - 8月20日 全避難所閉鎖。最大で約1万9000人が身を寄せた市復興ビジョン策定
- 2012年
 - 7月16日 勿来海水浴場が県内で唯一の海開き
 - 11月9日 災害公営住宅の建設始まる
- 2013年
 - 3月8日 仮設住宅全3512戸が完成
 - 27日 久之浜町末統地区で防災集団移転促進事業の工事始まる
 - 10月18日 市沖での試験操業開始
- 2014年
 - 2月22日 塩屋崎灯台の復旧工事が完了
 - 5月9日 試験操業で水揚げされた魚介類を原発事故後初めて東京・築地市場に出荷
 - 12月25日 防災集団移転促進事業が全4地区で完了
- 2015年
 - 3月1日 常磐道全線開通
 - 26日 新しい小名浜魚市場の使用開始
 - 11月19日 被災した豊間中の校舎改築工事始まる
- 2016年
 - 3月24日 福島県内初となる土地区画整理事業が久之浜地区で完了
 - 29日 災害公営住宅全1513戸(16団地)が完成
- 2017年
 - 4月3日 市漁協沼ノ内支所魚市場が再開
- 2018年
 - 7月23日 土地区画整理事業が全6地区で完了
- 2019年
 - 10月9日 市内7地区の津波対策・多重防壁工事が終了
- 2020年
 - 2月25日 県沖で漁獲される全43魚種の出荷制限を解除



「復興の歩み」の写真は河北新報オンラインニュースで公開しています。紙面掲載以外のカットも見られ、QRコードでアクセスできます。